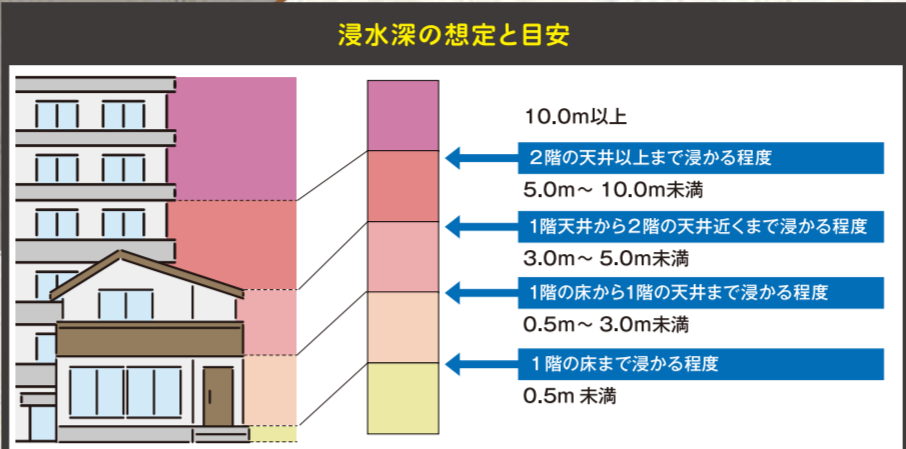


避難に関する情報

警戒レベル	とるべき行動	富士吉田市が発令
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	自らの避難行動を確認	—
1	災害への心構えを高める	—

防災気象情報

情報の種類	発表のタイミング	種類
特別警報	重大な災害が発生する恐れが著しく高まっているとき	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風、暴風雪、大雪
警報	重大な災害が発生する恐れのあるとき	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪
注意報	災害が発生する恐れのあるとき	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着雪
早期注意情報(警報級の可能性)	警報級の現象が5日先までに予想されているとき	大雨、暴風(暴風雪)、大雪



土砂災害の前兆現象を知って危険を察知!

崖崩れ	地滑り	土石流
<p>崖崩れは、急な斜面で突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。</p>	<p>地滑りは、一度に広い範囲の地盤が動き出すので、速度は遅やかですが、発生すると大きな被害をもたらします。</p>	<p>土石流は、谷筋で起きるので、土砂などが水と一緒に流れ下り、スピードが早く大きな破壊力を持っています。</p>
<p>前兆現象</p> <ul style="list-style-type: none"> 崖にひび割れができる。 小石がバラバラと落ちてくる。 水が湧き出る。 湧き水が止まる、濁る。 	<p>前兆現象</p> <ul style="list-style-type: none"> 地面にひび割れができる。 地面が陥没する。 地鳴りがする。 樹木や電柱が傾く。 	<p>前兆現象</p> <ul style="list-style-type: none"> 山鳴りがする。 川の音が濁り、流水が混ざる。 雨が降り続けているのに水位が下がる。 立木の裂ける音、石がぶつかる音がする。

凡例

- 指定緊急避難所(災害が発生しそうな時または発生時に一時的に避難する場所)
- 指定避難所(大規模災害が発生した場合に長期間避難生活を行う場所)
- 浸水想定区域内の要配慮者利用施設
- 土砂災害警戒又は特別区域内の要配慮者利用施設

防災備蓄倉庫

- 仲町防災備蓄倉庫
- 向原防災備蓄倉庫
- 旭町防災備蓄倉庫
- 上暮地防災備蓄倉庫
- 松山防災備蓄倉庫

交通

- 高速道路
- 国道
- 県道/主要道
- 鉄道/駅
- 市境

施設

- 学校
- 消防署
- 水位計
- 郵便局
- 警察署
- 河川カメラ
- 市役所
- 駐在所/交番
- 病院
- アンダーパス

浸水想定区域(浸水深)

- 10.0～20.0m未満
- 5.0～10.0m未満
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- ～0.5m未満

土砂災害警戒区域等

- 土石流
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

家屋倒壊氾濫想定区域

川が氾濫した場合に、あふれた水や川岸の浸食により、家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。
避難情報が発令された場合、この区域にお住まいの方は上層階への避難ではなく、区域外への避難が必要となりますので、速やかな避難をお願いします。

河岸侵食

河川の激しい流れにより河岸が削られ土地が流出し、家屋が流失・倒壊する恐れのある地域

氾濫流

氾濫した水の流れが直撃した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等をもたらすような氾濫が想定される区域

災害発生危険を知らせる情報

注意報や警報などのほか、身近な場所で風水害発生危険が高まっている場合には、次のような情報が発表されます。

土砂災害警戒情報

- 大雨警報(土砂災害)の発表後、後に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしな状況となつたときに、都道府県と気象庁が共同で発表します(警戒レベル4相当)。
- 記録的短時間大雨情報
- 大雨警報発表中に、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるために発表します。

顕著な大雨に関する気象情報

- 大雨による災害発生危険度が急激に高まっている中で、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です(警戒レベル4相当以上で発表)。

急傾斜地

傾斜度30%以上

急傾斜地の上部

急傾斜地の下部

高さ5m以上

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地の下部から急傾斜地の高さの2倍(ただし50mを超える場合は50m)

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危険が生じる恐れがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損傷が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危険が生じる恐れがあると認められる区域です。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

